

第135回免疫系発生学特別講演

# Professor Daniela Finke

University Children's Hospital of Basel  
and Department of Biomedicine  
University of Basel, Switzerland

## Cytokine-driven Functions of Innate Lymphoid Cells

2012年5月22日 火曜日  
13:00 - 14:30

疾患プロテオゲノム研究センター  
1F 交流ホール

Finke教授は、CD4+CD3-細胞がパイエル板の器官形成に必須であることを発見した実績をもとに、現在「自然リンパ球」と総称される新しいリンパ球亜集団について先駆的な研究を進めておられます。とりわけ最近、IL7やSCFなどサイトカインへの応答性の解明から自然リンパ球の機能制御に関する重要な成果を発信しておられます。この度、ご来学いただく機会を得ましたので、特別講義をお願いいたしました。多数のご来聴をお待ちしております。

Science. 334:1561 2011  
Immunity. 33:736 2010  
J Immunol. 183:2217 2009  
Immunity. 26:643 2007

J Immunol. 185:3514 2010  
J Immunol. 184:3562 2010  
Nat Immunol. 9:667 2008  
Immunity. 17:363 2002

問合先: 疾患プロテオゲノム研究センター生命システム形成分野/大学院医科学教育部免疫系発生学  
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)